

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 484 号	氏名	松田 勝也
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	永安 武	
	副 査	吉浦 孝一郎	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、子宮頸部の癌化過程において、DNA 損傷応答に関連する p53 binding protein 1 (53BP1) の核内フォーカスを指標として解析し、頸癌進展過程における 53BP1 の新規腫瘍マーカーとしての可能性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>High risk-human papillomavirus (HR-HPV)、53BP1 の発現パターンを in situ hybridization 法、蛍光免疫染色法を用いて解析し、子宮頸部癌化過程との関連性を統計学的に解析した。さらに、p16、Ki-67 をマーカーとして、細胞周期との関係も検討した研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、53BP1 の核内フォーカスの発現パターンは悪性度を推察する指標となり得ること、癌化にともない DNA 損傷応答が破綻していることを明らかにし、今後の子宮頸癌の発症メカニズムの解明と治療への応用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は婦人科腫瘍学の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			